

～世界と私たちが繋がるグローバルな 社会課題の学び・経験交流・連携の促進～ 埼玉県国際協力情報交換会2020 (オンライン)

世界と私たちが繋がるグローバルな社会課題に取り組む国際協カステークホルダー（途上国支援と多文化共生の関係者）が集い、持続可能な開発目標（SDGs）達成に向けて、国際協力と多文化共生の国内外実践の経験を学び合い、課題を共有し、SDGsゴールに向けたパートナーシップを築いていきませんか？

11月11日(水)
13:00～16:30

対象：「海外協力」および「多文共生」に取り組む自治体、NGO/NPO、大学、企業、関心のある市民、学生

参加費
無料

第一部

「世界と私たちが繋がる社会課題への目標の共有」

- ・基調報告
「SDGsを共通目標に国際協力と多文化共生を共有する」
- ・JICA連携事業に関して
- ・埼玉県における多文化共生の地域づくり



第二部

「SDGs達成に向けて、埼玉県の ステークホルダーの実践と連携の促進」

- ・事例報告「国際協力と多文化共生の実践」

- ・パネルディスカッション「世界と私たちが繋がる社会課題解決のために、何ができるか、どう連携をするか」

問い合わせ先

JICA埼玉デスク 矢田部 建佑 国際協力推進員 (ニカラグア隊員OB 小学校教育)

Jicadpd-desk-saitamaken@jica.go.jp

090-4024-0253

申込方法

右のQRコードを読み込みください。読み取れない場合↓

(<https://docs.google.com/forms/d/1uKt171DAyE2AOy7i720tC86YR40QmX1Dk082DVWrcnw/edit>)

メールアドレスからの申し込みの場合は、件名『埼玉県情報交換会2020』本文には、**名前・メールアドレス・所属**を記入

FAXからのお申し込みの場合は、048-833-3291

申込後、前日の11月10日(火) Zoomの招待をいたします。

*「個人情報」は主催者が管理し、主催者による埼玉県国際協力情報交換会関連以外には使用いたしません。」



～プログラム～

全体ファシリテーター：筒井 哲朗 NPO法人埼玉NGOネットワーク 副代表理事

全体司会：矢田部 建佑 JICA埼玉デスク 国際協力推進員

第一部 「世界と私たちが繋がる社会課題への目標の共有」 13:00～14:15

12:30～ Zoom説明*オンラインの参加に心配な方
(URLをクリックするとZoom待合室へ移動になるので、そこでお待ちください)

12:45～ 受付開始

13:00～13:10 開会挨拶・注意事項：JICA東京

13:10～14:15 ①趣旨説明：筒井 哲朗

②基調報告「SDGsを共通目標に国際協力と多文化共生を共有する」(30分)
：坂口 和隆 NPO法人シャプラニール=市民による海外協力の会 代表理事

③JICA連携事業に関して：JICA東京 市民参加協力担当者

④埼玉県における多文化共生の地域づくり：桑原 武蔵 埼玉県国際課 主幹

14:15～14:25 休憩

第二部 「SDGs達成に向けて、埼玉県のステークホルダーの実践と連携の促進」14:25～16:15

①趣旨説明：筒井 哲朗

②事例報告「世界と私たちが繋がる社会課題への実践」(各15分)

・自治体実践事例「埼玉県企業局の国際技術協力の歩み～タイ・ラオスの安全な水道水を目指して～」(JICA草の根技術協力事業)：藤原 悠希 埼玉県企業局総務課 主任

・国際協力NGO実践例「SANEが歩んできた奨学生事業と学校菜園・給食安定化事業、そしてコロナ禍の今強く願うこと」

：杉田 優子 NPO法人イクアドルの子どものための友人の会～SANE～ 代表理事

・自治体SDGs実践事例「さいたま市のSDGsによるまちづくり」

：林 勇希 さいたま市都市経営戦略部企画・地方創生担当 主任

・多文化共生NPO実践例「外国にルーツを持つ住民の支援と多文化共生社会づくり」

：石井 ナナエ NPO法人ふじみの国際交流センター 代表理事

③パネルディスカッション「世界と私たちが繋がる社会課題解決のために、何ができるか、どう連携をするか」 45分

パネリスト：坂口 和隆、杉田 優子、林 勇希、石井 ナナエ、桑原 武蔵、JICA東京

閉会挨拶：富永 幸子 NPO法人埼玉NGOネットワーク 代表理事

16:30 アンケート案内、終了

